

委員会先進地視察報告書総括表

1 視察日	令和 7年 11月 6日 ~ 11月 7日	
2 視察地・項目	① 北海道 網走 市 高校生との意見交換会について	
	② 県 市・町	
	③ 県 市・町	
	④ 県 市・町	
3 参加者	1. 村崎 浩史 委員長	7. 竹森 学 委員
	2. 光山 千絵 副委員長	8. 里脇 清隆 委員
	3. 高濱 広司 委員	9. 村上 秀明 委員
	4. 中崎 秀紀 委員	10. 小林 史政 議長
	5. 中村 仁飛 委員	11. 松尾 祥秀 副議長
	6. 水上 享 委員	12. 川添 太介 書記
4 視察経費	1,183,750 円 ※ (12) 人分	

議会運営委員会先進地視察報告書

報告者 光山千絵

1 視察日	令和 7年 11月 6日	
2 視察地	北海道 網走市	
3 参加者	議会運営委員会	
	1. 村崎 浩史 委員長	7. 竹森 学 委員
	2. 光山 千絵 副委員長	8. 里脇 清隆 委員
	3. 高濱 広司 委員	9. 村上 秀明 委員
	4. 中崎 秀紀 委員	10. 小林 史政 議長
	5. 中村 仁飛 委員	11. 松尾 祥秀 副議長
	6. 水上 享 委員	12. 川添 太介 随員書記
4 視察項目	高校生との意見交換会について	
5 視察先選定理由・目的	高校生との意見交換会の先進事例として参考とするため	
6 視察内容	<p>網走市</p> <p>道東部に位置し、オホーツク海に面する。大小5つの湖があり、流氷観光砕氷船「おーら」などが主な観光資源。農業では全国屈指の産出額を誇る麦類の生産が盛んで、漁業も基幹産業のひとつ。人口約3万人、市域約470km²。議員定数16名。</p> <p>説明：網走市議会 松浦 敏司 議長 網走市議会 井戸 達也 議会運営委員会委員長 網走市議会事務局 総務議事係 和田 亮 係長</p> <p><u>網走市議会の現況</u></p> <ul style="list-style-type: none">○議員定数 16名○会派数 6会派○委員会 常任「総務経済委員会・文教民生委員会」・議会運営委員会・広報委員会○議会基本条例 平成27年3月制定 <p><u>「市民向け」議会報告会・意見交換会の実施状況</u></p> <p>開催時期：平成26年～平成30年、令和5年 内容：【第1部】常任委員会からの報告 【第2部】意見交換・質問 など 結果：各年度 10～30名の参加人数 課題：参加市民の固定化、人数の減少、年齢層偏り、市民生活との隔たり</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>令和6年『議会カフェ』と題し「みんなの生活展」に議会として相談ブースを設置 結果3時間で、訪問者40名、相談件数30件。 (7割が女性、若い年代の人の意見も聞けた)</p>	

市内高等学校での議会報告と意見交換会 令和元年より実施。

【網走南ヶ丘高校】 令和6年11月11日(月) 13:15~15:00

参加者：2年生(普通科) 156名(男子81名 女子75名)

出席議員：全議員16名

内 容

事前にグーグルアンケートを活用し市議会に関するアンケートを実施。

その結果をもとに議会について説明を行う。

その後、投票率向上をどうしたらできるか議員も加わりグループワークをした。

【網走桂陽高校】 令和7年12月19日(木) 13:15~15:10

参加者：3年生(普通科・商業科・専務情報科) 117名(男子67名 女子50名)

出席議員：全議員

内 容

第一部 「課題学習の成果発表」 第二部 「意見交換会」

※令和6年には同高校生が商店街活性化に向けた請願を議会に提出し採択された

質疑応答

議員の人員配置で工夫したこと・高校生が請願提出に至った経緯

議会事務局の負担の変化・議会カフェ参加呼びかけの方法・議員側の反応 など

7 委員会
所見

今回の説明は主に井戸議員が説明をされ、松浦議長も最後まで同席してご説明されたことに議会として大変熱心に取り組まれていることが伝わった。議会カフェ実施においては、市民参加人数は少ないものの通常の議会報告会では参加が少ない女性や若い世代の意見を聞いたという点はとても参考となった。また、高校生との意見交換会は各校で取り組み姿勢も違うとのことだが、そこは学校側の考えもあるという。請願を提出するまでに至った、桂陽高校は地元に残る子どもも多いことから町の課題を真剣に考えているのだろうとお聞きした。若い世代が政治に関心を持ちもっとよくしようと考える姿勢を作れたことはとても素晴らしいと感じる一方、高校生が活躍すればするほど議員の存在意義も問われることとなるのだろうと感じた。最後に、井戸議員がこれからの議会は待っていてもダメ、自分たちから外に出ていくことが大切という言葉がとても印象的だった。